

国際原子力エネルギー協力フレームワーク（IFNEC） 運営グループ会合の結果概要について

令和3年11月17日
内閣府
原子力政策担当室

令和3年11月16日にIFNEC運営グループ会合が、オンライン会合により開催されたところ、以下の通り、結果概要について報告する。

1. 会合日程・場所

- (1) 令和3年11月16日（木）21:00-24:00（日本時間）
- (2) オンライン会合

2. 参加国・国際機関

- (1) 参加国（27カ国）

アルゼンチン、アルジェリア、オーストラリア、オーストリア、カナダ、中国、エジプト、フランス、ドイツ、インドネシア、イタリア、日本、ケニア、韓国、ポーランド、ロシア、スイス、英国、米国、スロベニア、チリ、ガーナ、ハンガリー、ヨルダン、メキシコ、ナイジェリア、フィンランド

※下線はオブザーバー国を示す。

- (2) 国際機関（3機関）

OECD/NEA（経済協力開発機構／原子力機関）、EC（欧州委員会）

GIF IV（第4世代原子力システムに関する国際フォーラム）

- (3) 主要参加者

- ・運営グループ議長：アレシア ダンカン氏（米国）
- ・運営グループ副議長：
覚道 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官（日本）
シー 国家能源局原子能司副司長（中国）
アルチシュク ロスアトム技術アカデミー副学長（ロシア）
ジュマ ケニア原子力発電委員会最高経営責任者（ケニア）
デルーチ 財務省原子力政策課長（アルゼンチン）
- ・OECD/NEA ウイリアム マグウッド事務局長

3. 会合結果

- (1) 開会挨拶：ダンカン 運営グループ議長

- (2) IFNEC 事務局報告

- ・ 2021年IFNECの活動と予算についての説明。すでに7回のウェビナー、ワークショップを実施し、11月23日にFinancingの会議開催予定
- ・ Webinarの結果分析とソーシャルメディアの活用について報告があった。
- ・ 2022年予算の概要説明
- ・ 改訂されるIFNEC規約（Terms of Reference）について、2021年9月6日に最終版を配布し、了承された。

- (3) 参加国、団体からの報告

- ・ 全般的に、会合開催に対する事務局への謝意、議長のリリーダーシップへの賞賛、各国等毎に原子力事情、活動・計画状況について発言があった。
- ・ カナダ：COP26でカナダの原子力の貢献、今後の目標などについて発表した。SMRの進捗状況紹介。
- ・ 中国：第三世代原子炉1月稼働、第四世代高温ガス炉9月稼働、SMR7月に建設開始。気候変動に対応する方法として、原子力を位置づけている。
- ・ フランス：マクロン大統領主導する2030年カーボンニュートラルに向けた原子力を含むプランを紹介。

- ・ ドイツ：9月に選挙があり、3政党が12月に向けて討議中。原発のフェーズアウトのための24億ユーロの金額的補償を含む。また、放射性廃棄物のフランスへの輸送について。
- ・ 日本：覚道審議官より、福島復興、原子炉の再稼働、原子力に関する政策状況について発表。カーボンニュートラルに向けた原子力をベースロード電源とするエネルギー基本計画について説明。IFNECに対するコミットメントを表明。
- ・ 韓国：現在、原子力はエネルギー生産の29%を担う。UAEで韓国の技術による原子炉が4月に稼働した。政府は、気候変動に対応する方策として原発に注目。
- ・ ポーランド：政府はゼロエミッションに向けて、原子力を含むロードマップを策定。2033年に原子力発電所1号機が稼働、2043年まで5台稼働予定。原子力の人材育成に注力。
- ・ ロシア：2020年原子力は20%を占める。SMRや高速炉の開発を進めている。
- ・ 英国：ネットゼロに向けて10月に原子力政策を発表。1億2千万ポンドのファンドを創設。英国でのCOP26では、原子力のプレゼンスがいままで最も大きくなった。
- ・ インドネシア：1965年に最初の原発を稼働させた。2060年までの気候変動に対応するロードマップとして、原子力が一つのオプションとなっている。
- ・ スイス：安全性のため、段階的な脱原子力の方針であるが、2050年までのゼロエミッションにむけて、2040年までは使用し続ける見込み。
- ・ Generation IV International Forum: 上手秀樹議長から第四世代原子炉が、現在実証段階に入っていることを説明。ワークショップ、ウェビナーなどを開催している。

(4) 議長からの報告

ダンカン氏より、IFNECの2022ビジョンについて。IFNECは原子力の平和的、安全な利用を推進し、参加国にたくさんの機会を提供する。持続的な組織構造、運営、財政基盤、参加拡大、対外活動に注力する。来年のケニアでの会合には65関係国の多くが参加することを希望する。

(5) ワーキンググループからの報告

IDWG (Zbigniew Kubacki氏、Mike Goff氏)

- ・ IFNECとIAEAの関係を強化している。
- ・ 2021年はファイナンスについてのウェビナーを4回行った。さらに1つを企画中。
- ・ SMRのライセンス、デモンストレーションのワークショップを2022年5月に予定。
- ・ 多国間、国立金融機関から原子力にむけてのファイナンスサポート計画の進捗。

RNFSWG (Sean Tyson氏、Tomaz Zagar氏)

- ・ 10月に使用済核燃料についてのウェビナーを開催した。
- ・ 使用済核燃料の長期保管、核燃料サイクルのための情報を収集し、プログラムを展開する。IDWGと5月に共同ウェビナーを予定。

NSCCEG (Facundo Deluchi氏、Shi Lishan氏、覚道審議官)

- ・ 中国の作成したファイナンスについてのレポートを展開予定。
- ・ 日本ではFNCAでの国際連携を深め、12月にダンカン氏がキーノートスピーチを行う予定。
- ・ IAEA総会でのオンラインイベントを共催した。COP26サイドイベントで活動を紹介した。
- ・ SMRについてのワークショップ、原子力とカーボンニュートラルティエーについてのセミナーをIDWGと共同で2022年に予定。

(6) 2022年IFNECの活動(下記)が提案され、承認された。

- ・ IFNECの国際機関との協力体制を向上させる。
- ・ IFNECのすべての参加国との活動を展開する。
- ・ 気候変動を緩和する原子力の役割についての活動を増やす。
- ・ 多国間開発銀行などによるファイナンスを推進する。
- ・ 次世代のためのメンターリング活動を継続する。
- ・ 原子力におけるジェンダーバランスに貢献する。

(7) World Nuclear Associationのオブザーバー団体としての参加が提案され、承認された。

4. 添付資料：2021年11月IFNEC運営グループ会合アジェンダ

IFNEC STEERING GROUP MEETING
AGENDA FOR THE REMOTE MEETING

Scheduled meeting time:

Tuesday, 16 November 2021 from 13:00 to 16:00 CET
(Paris time)

All participants are kindly requested to register by **Wednesday, 10 November 2021**:
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZAld-6tqD0oGNLyucXQRjoXns-KfAab6x8Y>

Decisions taken by the Steering Group during each remote session have the same authority as the ones which would have been taken in physical sessions.

ITEM 1. WELCOME REMARKS BY THE IFNEC STEERING GROUP CHAIR AND NEA DIRECTOR-GENERAL

- IFNEC Chair Aleshia Duncan
- NEA Director-General William D. Magwood IV

ITEM 2. NATIONAL STATEMENTS BY IFNEC MEMBERS

We invite IFNEC members to sign up for brief national statements of 3 minutes by sending an email to Ms Jamelee Bal at (jamelee.bal@oecd-nea.org) by Wednesday, 10 November.

ITEM 3. REPORT BY THE STEERING GROUP CHAIR

- i. IFNEC vision for 2022
- ii. Engagement with all IFNEC countries: outreach and reaffirmation process
- iii. Homecoming Event
- iv. Kenya Ministerial Conference presented by Vice-Chair Collins Juma

ITEM 4. UPDATES FROM THE WORKING GROUPS

- i. Reliable Nuclear Fuel Safety Working Group (RNFSWG): Tomaž Žagar, Sean Tyson and Vladimir Artisyuk

- ii. Infrastructure Development Working Group (IDWG): Zbigniew Kubacki and Mike Goff
- iii. Nuclear Supplier and Customer Countries Engagement Group (NSCCEG): Shi Lishan, Takafumi Kakudo and Facundo Deluchi
- iv. Questions & discussion

ITEM 5. REPORT FROM THE IFNEC TECHNICAL SECRETARIAT

- i. Technical Secretariat Staff
- ii. 2021 IFNEC activities and budget
- iii. Report on the implementation of the new Terms of Reference

ITEM 6. PROPOSAL OF THE 2022 ACTIVITIES

Approval decided by voting members

ITEM 7. PROPOSAL OF ADMISSION OF THE WORLD NUCLEAR ASSOCIATION AS AN INTERNATIONAL OBSERVER ORGANISATION

Approval decided by voting members